



# 羽生田 特別号 だより



自由民主党群馬県参議院  
比例区第八十二支部

羽生田たかし 国会事務所

〒100-8962  
東京都千代田区永田町2-1-1  
参議院議員会館319号室  
TEL:03-6550-0319  
FAX:03-6551-0319

羽生田たかし 群馬事務所

〒371-0022  
群馬県前橋市千代田町2-10-13  
TEL:027-289-8680  
FAX:027-289-8681

## ごあいさつ

平素より地域医療を懸命に支えておられ、また、医政活動並びに私に対しましてもご理解、ご支援・ご指導を賜っておりますことに心より敬意と感謝を申し上げます。

お陰様で、平成25年7月の熱く燃えた選挙から早や4年近くが過ぎようとしております。私は昭和62年に前橋市医師会の理事として医師会活動がはじまり、群馬県医師会を経て日本医師会での長年の活動が礎となり、たくさんの方々と共に地域医療に携わってきたことが私を創ってくれ、今があると痛感し、その経験をさせて頂いたことを有り難く思っております。

昨年9月の192回臨時国会の開会日に参議院厚生労働委員長を拝命し、現在も厚生労働委員長として公平公正な議事運営に努めると共に、しっかりと議論・審議し速やかに採決に繋げることに努力しております。委員会で可決した法案は参議院本会議において登壇し、審議結果について報告し、本会議で法案を議してしております。193回通常国会においては厚生労働委員会への提出予定法案は新規9本、継続2本の合わせて11本ですが、4月末までに雇用保険法改正案と臨床研究法案の2本のみが可決成立に至りました。

テレビでも繰り返し報道されている喫煙に関わる「受動喫煙防止」の健康増進法案をはじめ、医療、介護、雇用、児童福祉など厚生労働委員会での審議法案は国民生活に直結するものが多くあります。しかし、国会という場所は、私が経験してきた医師会のように政策そのものを議論するというよりは、パワーゲームと言え言過ぎですが、政治力や駆け引き、政党の思惑など色々な要因要素が政策より優先されることがあり、「なぜ国民の為に議論が進められないのか…」と強く感じる場合がございます。

日常お支えを頂いております先生方からの思いやお声をお伺いするたび励まされそして英知と勇気を頂き、正しいことは正しいと強い信念を持って立ち向かう努力をしております。本当に皆様には感謝してもしきれない気持ちで一杯であります。

今後、来年に控えた診療報酬・介護報酬の同時改定をはじめ、経済財政諮問会議の提言が基となる骨太方針2017、働き方改革、病床再編、地域包括ケアのスタートに加え、延期された消費増税、そして控除対象外消費税の問題などなど課題は山積しております。

医療や介護は財政論のみで評価する方々からは「消費」だと批判されていますが、これは大きな誤りであり医療や介護そして特に健康増進は国民にとりまして「投資」であります。超高齢社会を迎えた日本にとって健康寿命の延伸そしてそれをとりまく医療・介護の社会保障環境をしっかり守ることこそが経済再生の礎として必要なのであります。

次の選挙まで2年余りとなりました。地域医療を必死に懸命に守ってられる先生方の現場のお声を今まで以上にお聞きし、更なる活動を



上毛カルタより

利根川

昔、「坂東太郎」と呼ばれた日本を代表する利根川のように、群馬の子どもたちが、悠々とした広い心で家族や友だちと協力し、世界を見つめながら大きく成長してほしいと願う札です。

広げ、そして地域の現状・実情を国政に届けるという使命と責任をしっかりと果たして参りたいと存じます。

患者さんが安心して医療を受けられ、医療者が安心して医療を提供できる体制の構築「すべての人にやさしい医療を」を充実・発展させて参ります。

今後ともご支援・ご指導をよろしくお願い申し上げます。

## 【雑感】

平成25年7月第23回参議院議員選挙におきまして、全国の皆様方からの大きなご支援により249,818票を頂き初当選させて頂きましてから早くも3年9ヶ月が経過致しました。また昨年の7月には自見はなこ議員を誕生させて頂き、日本医師会推薦議員が2人揃いましたのは実に9年振りになります。この間に2年5ヶ月は0人というときもありました。改めてご支援に深謝申し上げます。大変ありがとうございました。

今まで各地でこの私の得票数につきまして「後182票あれば見事25万票に届いたのに…」という残念な気持ちと、申し訳ないという気持ちをお話しさせて頂いて参りましたが、本当は皆さま方からのご支援は25万票を越えておりました。ではなぜこの票数だったの？それは私の父が昭和47年から54年まで衆議院議員をしていたことに起因しております。選挙区でありました群馬第一区を中心に千票を越える「羽生田すすむ」票が出てしまい、この票はすべて無効票になってしまったのです。この票が有効票だったら、めでたく25万票に届いていたのですからまことに残念です。しかし私に頂いた票には父のお陰票がたくさんあった訳ですから、改めて25年間の群馬県医師会長、7年間衆議院議員をしていた父の偉大さを知らされ感謝しております。

参議院厚生労働委員長  
参議院議員

羽生田 俊



## 厚生労働部会

2月15日

受動喫煙防止対策について自党内で激しい議論が交わされていますが、この日は団体ヒアリングが実施され、日本医師会からは今村聡副会長より「国民の健康被害を防止するためには建物内全面禁煙が必要。」との考えが示されました。私は「受動喫煙防止対策が必要だという認識は皆同じ。国民の健康確保のため、法案を早期に提出するべきである。」と発言いたしました。



## 一億総活躍推進本部

2月16日

ICTを活用して身の回りの様々なモノをインターネットにつないで情報を収集し、効率化などを図る仕組みのことをIoT (Internet of Things) と呼びますが、自党内の一億総活躍推進本部では医療分野のIoTをIOHH (Internet of Human Health) と名付け、その可能性について議論をしています。この日は関連企業、三ッ林裕巳衆院議員 (医師)、内閣官房からICTやIOHHの現状、今後の可能性や課題などについて聴取いたしました。



## 議員連盟での活動



## 3月31日 団塊の会 記者会見

いわゆる団塊の世代にあたる昭和22年～24年生まれの自民党の衆参国會議員により、団塊の会を開催いたしました。団塊の世代は2025年に全員が後期高齢者を迎えます。また、本年はいよいよ昭和22年生まれの先生方が70歳となる節目の年でもあるため、団塊の会としての宣言を右記の通り取りまとめ、記者会見を行いました。会は熱気に溢れ、参加者それぞれが今後の活躍を誓い合いました。

## ■ 団塊の会 宣言 ～～～～～

- 1、健康長寿を貫き、もうひと花咲かせるぞ！
- 2、家族や周りの人に迷惑をかけないぞ！
- 3、延命治療は受けずに、自然死を貫くぞ！

## 4月4日 バイオ医薬品勉強会

現在、鴨下一郎 田村憲久 とかしきなおみ 藤井基之 古川俊治 自見はなこ (敬称略) の医療に関係の深い先生方と共に「バイオ医薬品勉強会」を平成28年11月24日、平成29年4月4日と2回開催をさせて頂きました。

日本医師会をはじめ、日本薬剤師会、日本製薬工業協会、バイオシミラー協議会、日本製薬団体連合会の関連団体に加え厚生労働省にもご参加賜り、毎回20人を超す国會議員本人の出席を頂きバイオ医薬品 (先行品)・バイオシミラー (後続品) の正しい認識をはじめ開発支援や在り方について多くの意見交換をさせて頂いております。

また、第2回開催の折には現在北海道大学名誉教授・リウマチ学会前理事長の小池隆夫先生にご参加を頂く事も致しました。

小池隆夫先生からは「先行品が5000例から1万4000例の市販後前例調査を実施し、日本人データで有効性と安全性を検証したのに対し、BSは開発段階で50例しか実施しておらず市販後調査体制は必ずしも万全でない」また「バイオ医薬品は人種差が臨床効果に影響しやすく先行品からBSへの安易な切替えは慎重に対応すべき」など専門医として多くの臨床経験を基に色々な安全性へのご指摘をいただきました。

今後、医療費 (保険財源) に大きく関わってくるであろう医薬品、特にバイオ医薬品 (先行品) とバイオシミラー (後続品) については、まだまだ理解をされているとは言い難く現在ジェネリック医薬品のように医療費削減の得策として低分子の医薬品と同様にバイオ医薬品 (高分子) の後発、いわゆるバイオシミラー (後続品) が、脚光を浴び始めております。

我が国の製薬企業は参入に遅れたことからバイオ分野が弱いと指摘をされており、今後日本企業もイノベーションが高く評価される革新的な新薬の製造がのぞまれております。

これらの開発を待っている患者の為に、安全性・有効性を第一に財政的な側面をも議論しながら革新的な新薬創出の応援が出来るよう、今後も繰り返し議論を続けて参りたいと思っております。



## 4月12日 自民党受動喫煙防止議員連盟

首相官邸にて健康増進法改正案 (受動喫煙防止対策) の早期成立を求める決議文を菅官房長官へ手渡しました。

## 俊翔会 (しゅんしょうかい) のご案内

羽生田たかしの政治活動を支援するための後援会「俊翔会」へのご入会をお願いいたします。

目的: 我が国における社会福祉の発展と国民生活の質的向上を目的とし、羽生田たかしの政治活動を支援するとともに、会員相互の親睦を深めることを目的とする。

会費: 年10,000円 (一口)

## お問合せ先: 俊翔会事務局

東京都千代田区永田町2-1-1  
参議院議員会館319号室  
Tel. (03) 6550-0319 / Fax. (03) 6551-0319



## 4月24日 世界保健機関 (WHO) 議員連盟設立総会

本年8月下旬に日本で国際保健に関するアジア太平洋国會議員フォーラム (第3回) の開催が予定されております。それに先立ち、WHOと我が国との連携を促進する為に超党派の議員連盟を立ち上げ、この日の設立総会ではシン・ヨンスWHO西太平洋地域事務局長にご講演をいただきました。

